

金田町人の動き

S、45年8月31日現在		
世帯数	2,163	
人口	8,897	+325
男	4,309	+11
女	4,588	+15
出生	32	
転出	36	
死亡	11	
	4	

# かなだ

第107号

金田町報  
 発行所 金田町中央公民館  
 編集兼発行人 原田豊茂  
 印刷所 九州機関紙印刷所  
 電話 093 4461

## 体力づくり歩行運動大会

# 歩け歩け運動

中央公民館

昔から「健全な精神は健全な身体に宿る」といわれ、送り迎えしている私たちが、たのしい家庭生活、みなぎるような労働意欲を支えるものは、健康なからだであり、たくましい体力であります。この健康なからだ、たくましい体力はみずからの努力なくしてはできないものです。他人がつかけてくれるものはありません。これは誰かがつかけてくれるのではなく、他人がつかけてくれるのです。

そこで金田町では、体力づくり国民会議の呼びかけに応じて総理府、福岡県との共同主催で、体力づくり歩行運動推進大会を開催致しましたところ、老人クラブ、婦人会、子供会、その他一般成人約四百数十名の



(歩行運動大会風景)

参加の下に、十一月十五日盛大に挙行されました。午前九時、準備体操の後、人見地区を先頭に小学校を出発し、宝見、人見橋、神崎、南木、神田橋、昭和町、新町を経て小学校に至る約六軒のコースを、各地区ごとの隊列が整然と行進致しました。はじめは元気で歩いていた人も、終り近くになると寒い向風に、少々閉口している様子も見受けられましたが、誰一人落伍する人もなく、元気いっしり上げます。

はい、小学校で「歩行運動」は金田町では初めての試みでありましたが、指導員・世話人の方々の御協力はもちろん、参加の皆さん方の御理解によりまして、極めて盛大に、有意義に終了しましたことを、感謝致しております。いちど歩いたからといって、急に健康になるものではありませんが、歩くことは、歩くと少くない現代人は、これを機会に、歩行運動の大切さを認識し、できるだけ歩くことに心掛けたいものです。おわりに御多忙の中を、交通整理に御協力下さりました、交通安全協会役員の方々に、厚くお礼を申し上げます。

## 一月元旦と書くのは、

# おかしいでしょうか

中央公民館

年賀状に、一月元旦と書くのはまちがいです。元旦は一月一日と決まっているからです。としよりのおばあさんというのと同じです。年賀状に書く日づけは一月一日か、昭和××年元旦とかくか、一九××年元旦か、あるいはただ元旦と書けばよいのです。

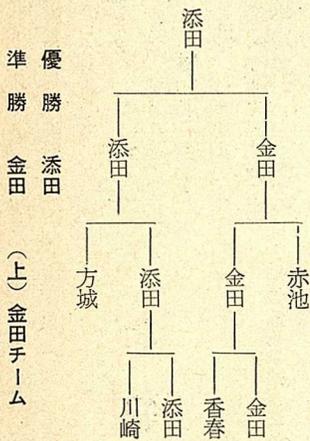
正月に行く家に年賀状を出す人がいますが、それはまちがいです。年賀というのは、元旦から三日まで新年のあいさつをのべにまわることですが、郵便の制度がしかれてから、遠いところ、近くてもどうしても行けないところには、年賀状であいさつをすませるようになりました。

年賀状には、お年玉つき年賀郵便というのがありますが、あれは赤い羽根運動の寄付金が一円ついているのです。

## 田川郡町村対抗親善野球大会

# 金田町(上金田)準優勝

中央公民館



昭和四十五年度田川郡町村親善野球大会が、六ヶ町六チームの参加の下に十月十八日、田川高校グラウンドにおいて盛大に開催されました。わが金田町代表上金田チームは、幾多強剛チームの中にあつて力戦敢闘、次のような好成绩を収めて金田町の名を輝かせました。

## 金田町史

頒布価格 1,000円

御希望の方は中央公民館へ



# 田川郡婦人会

## 幹部研修会に参加して

金田町婦人会副会長 桑野昭子

毎年行なわれている田川郡婦人会幹部研修会が、  
 「急変する社会に対応して  
 幸福な社会生活を営むため  
 に、わたしたち婦人が当面  
 している問題を十分認識  
 し、その本質を明確にし、  
 婦人会として果たさなければならぬことがらを探究  
 し、今後の婦人会の進むべき方向を見定め、婦人会幹部としての資質の向上をはかる」という趣旨のもとに  
 九月二十七日、二十八日の二日間、阿蘇国立青年の家において行なわれ、金田町婦人会からも会長以下支部長十三名が参加いたしました。

た。九月末といえ日中は真夏のような暑さでした。が、日田から杖立を経て阿蘇大観峰に着く頃は、すっかり秋らしい風情がバスの窓から眺められました。朝七時四十分金田町役場前を出発したバスは午後一時半、噴煙たなびく阿蘇中岳のふもと、果てしなく続いた緑の芝生の中に、モダンなたたずまいを見せる鉄筋三階建の青年の家につきました。道路工事のためにバス路線が悪く、疲れ切っていた私たちも、無限に広がる緑野、悠長に遊ぶ牛馬の群など、雄大な大自然を目

の前にして、今から始まる二十四時間の研修生活に、心の躍動するのを禁じえませんでした。早速講堂でオリエンテーションを受け、五つの分科会に分れました。

第一分科会 家庭教育と婦人会活動  
 家庭教育における親の役割。  
 親の教育と婦人会の役割。  
 第二分科会 政治と婦人会活動  
 政治と私たちの生活。  
 政治と婦人会活動の関係。

第三分科会 消費生活と婦人会活動  
 消費と私たちの生活。  
 消費生活と婦人会活動の関係。  
 第四分科会 健康と婦人会活動  
 私たちの健康はどのような健康を守るため婦人会は何をなすべきか。  
 第五分科会 生活設計と婦人会活動  
 これからの私たちの生活はどのようなか。  
 豊かな暮らしと婦人会活動の関係は。

## 鉢植えの越冬

金田町中央公民館

右の様な問題について、いろいろと論議をかわし研究しました。  
 物価問題では、物価上昇の原因をつきとめ、場合によっては、買控えることも一つの方法だということ、当然カラーテレビのこと  
 とが話題にのぼったり、生活設計については、方城の方の綿密な生活設計によって、住宅資金を作られた体験談、常に健康であるための生活態度、私たちの健康をそこなう公害問題等、私たちの生活に密接な問題が数多く取り上げられ、休みなしの二時間の討議でしたが、ときのたつのも忘れるほどの熱心さでした。  
 分科会のおとは、夕べの集い、入浴、夕食、夜のレクリエーションの時間に、ストラックスにズックをす。

# 兄弟関係

青年問題協議会

## 兄弟間に働く心理

戦時中までは人的資源と  
 いうことが特に強く言われていた関係上、生めよ殖せよで、子どもの多い家庭は多かったものです。四、五人はごく普通で、七、八人、時には十人以上という

一人では仕方ありませんが、子どもが二人ともなりますと、そこに兄弟関係が発生してまいります。兄弟でなくとも、二人の人間の間に緊密な人間関係が発生してまいりますと、二人の間にはいつの間にか愛、憎しみ、嫉妬、尊敬、模倣、共同、指導、服従、競争、喧嘩、からかい、排斥などというような心理や行動が発生してまいります。兄弟関係におきましては、その

れが一層濃厚な色彩を帯びて現われてまいります。濃厚な色彩を帯びてとは、兄弟間の接触はその頻度が、他の人間関係の場合とは問題にならないほど多いものです。大体四六時中一緒にいます。そしてその兄弟関係がどうあるかということには、家の職業、経済状態などを越えて、親の考え方、人から、指導の仕方というものが強く影響してまいります。

翌日は青年の家の土山先生から「現代青年の生活意識と婦人の立場」という題目で、生涯教育や青年期の課題について有意義なお話しを聞き、二十四時間の充実した研修を終え帰路につきました。

あの大阿蘇での研修は、永遠に燃えつづける阿蘇の御神火のように、私たちの胸の中に残って、今後の家庭生活や、社会生活の道しるべになるものと信じます。

す室内に入れ、風のないときは、三時ごろまで充分日光浴をさせ、二三日に一度は水をやりませ。肥料も栄養価が高く吸収がよく、臭のない液肥を月に二回ほど水代りにやります。ゴム、ドラセナ、ヤシ、黄金カヅラなどの観葉植物は一度C以下になると落葉するほど寒さに弱く抵抗力のないものです。夜間は、浴室においておくか、ビニールで包んでおくと四度Cは違いますが。日光浴と四五日に一度の水やりは忘れないように。水はひなた水くらいが適当です。ただし、サンスベリヤやアナナスは冬中一滴も水をやらない。